

令和5年10月6日

6年生保護者様

横浜市立若葉台小学校

校長 池田 千穂

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

本年4月に、全国の小学校6年生および中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果がまとまりました。それをもとに分析した「本校の状況」について報告いたします。なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに引き続き取り組んでまいります。

【全国学力・学習状況調査の目的】

- (1) 全国の小中学校児童生徒の学習状況について分析的・総合的に把握し、教育施策に活用するとともに、児童生徒の学力向上などに生かす。
- (2) 各学校においては、自校の一人ひとりの学習状況をとらえ、教科指導や教育評価の改善および個に応じた指導の充実などに生かす。
- (3) 児童生徒においては、学力向上のために自らの学習状況をとらえ、学習の改善などに生かす。

【本校の各教科・観点別の調査結果】 [平均正答率(%)]

●各教科の調査結果

	若葉台小学校	神奈川県	全国
国語	61	66	67.2
算数	58	63	62.5

●観点別の調査結果

《国語》評価の観点	若葉台小学校	神奈川県	全国
知識・技能	62.7	68.5	68.9
思考・判断・表現	59.6	64.0	65.5

- ・平均正答率は、神奈川県や全国と比べ、2観点ともに下回っている。
- ・「知識・技能」では、漢字の送り仮名を選択する問題の正答率は高くなっていたが、記述で答える問題の正答率が低かった。
- ・「思考・判断・表現」では、文章から読み取る問題は概ねできていた。一方「知識・技能」同様、「思考・判断・表現」の観点でも、自分の考えを記述で表すことに課題が見られた。
- ・解答時間が足りなかったと答える児童が多かった。普段の授業でも、一定時間の中で課題に取り組むことを意識し、見通しをもって取り組むことに慣れるようにしていく。

《算数》評価の観点	若葉台小学校	神奈川県	全国
知識・技能	61.9	67.8	67.2
思考・判断・表現	53.3	57.2	56.5

- ・平均正答率は、神奈川県や全国と比べ、2観点ともに下回っている。
- ・「数と計算」「変化と関係」について、基本的な四則計算の処理は一定程度の理解は図られている。一方、正三角形や平行四辺形・ひし形の作図など「図形」領域について、構成の仕方を捉えて考えることには課題がある。
- ・問題形式を見ると、記述式の正答率は低いことがわかる。また、中でも「理由を言葉や数を用いて答える」ものについては、正答率がかなり低くある。
- ・「解答に必要な条件を理解する」など、題意を正確に読み取る力や自分の考えを説明する力を向上させ、「思考・判断・表現」を活用して問題に取り組めるように支援していく必要もある。

【児童質問紙の調査結果（顕著な傾向や特に着目したい項目）】

- 各質問事項に対する回答は、 1（当てはまる） 2（どちらかといえば当てはまる）
3（どちらかといえば当てはまらない） 4（当てはまらない） に分けられている。
- 基本的に上記回答のうち、1および2、つまり「該当する」割合で以下に掲載する。

質問事項	若葉台小学校	全国
自分には、よいところがあると思いますか	85.7	83.5
将来の夢や目標を持っていますか	75.7	81.5
家で、自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）	71.4	70.7
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	85.7	81.9

- ・8割以上の児童が「自分には、よいところがある」と思っている。多くの児童が自尊感情をもっているととらえている。引き続き、自分や他人のことを大切にすることを育てていく。
- ・将来の夢や目標をもっている児童が全体の4分の3以上いる。これからも、夢や目標に向かって様々な体験ができるよう支援していく。
- ・8割以上の児童が、「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答している。今後も、例えば国語や算数の学びを、総合的な学習など他教科に関連させる学習を大切にしていく。